

メールマガジン「総領事館からのお知らせ」2026 年 1 月 23 日(2 月号)

1. アデレード領事出張サービス(一日総領事館)3 月 20 日(金曜日)のおしらせ(再掲載)
2. ブッシュファイヤー(森林火災)に関する注意喚起
3. 旅券発給体制の変更とパスポート用写真に関するお知らせ(再掲載)
- 4.マイナ免許証(再掲載)
5. 今後の日本文化関連行事(2026-2 月号)

1. アデレード領事出張サービス(一日総領事館)3 月 20 日(金曜日)のおしらせ(再掲載)
3 月 20 日(金曜日)、南オーストラリア州アデレードにおいて領事出張サービスを実施致します。詳細は、当館ホームページをご覧ください。

○アデレードにおける 領事出張 サービス

日時:令和 8 年 3 月 20 日(金) 8:00—12:00

場所: Holiday Inn Express Adelaide City Centre, 30 Blyth Street Adelaide, SA

当館 HP https://www.melbourne.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/adelaide2.html

2. ブッシュブッシュファイヤー(森林火災)に関する注意喚起

ビクトリア州北東部(Longwood、Wonnangatta、Walma 西部 25km)にてブッシュファイヤー(森林火災)が発生しています。風の強い日は火災の広がりが早く大変危険です。高温かつ乾燥した天気が続く場合には十分注意を払い、州政府の指示に従って行動してください。

ブッシュファイア(森林火災)に関するご注意

https://www.melbourne.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/chuikanki_20NOV25.html

3. 旅券発給体制の変更とパスポート用写真に関するお知らせ(再掲載)

2025 年 3 月 24 日から、偽変造対策強化のため人定事項ページにプラスチック基材を用いた「2025 年旅券」の発給が開始されています。旅券は、日本国内で作成されるため、申請から交付まで 3 週間-1 か月程度要します。そのため、旅券の紛失や盗難、有効期限の不足などにご注意いただき、必要に応じて早めの旅券申請を行ってください。また、パスポート用写真規格について、リンク先をご参照のうえ、背景との境界が不明瞭になる白い服装は避けて、目の周辺の条件にあうよう、お知らせに記載している事項に従い準備をお願いいたします。

パスポート申請用写真についてのお知らせ(令和 7 年 3 月)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100171389.pdf>

4. マイナ免許証(再掲載)

2025 年 3 月 24 日から、運転免許に関する情報をマイナンバーカードに記録した「免許情報記録個人番号カード」(通称、マイナ免許証)の運用が開始されました。しかし、マイナ免許証はカード券面に運転免許証の情報が表示されず、日本国外では記録された情報を読み取ることができず、当地で

は無免許であるとされる可能性があります。また、マイナ免許証では、在外公館の発行する自動車運転免許証抜粋証明については、発行できません。当地で運転等される場合には、従来の日本の運転免許証を取得して持参するようにしてください。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/kaigai/licence/index.html>

5. 今後の日本文化関連行事(2026-2月号)

(1) 当館展示:「An Exhibition of Samurai Art Objects」

刀剣、刀装・刀装具、甲冑や小道具等の研究、保存、及び普及を目的とした個人コレクター団体「豪州日本美術刀剣保存会」による展示です。今回は 16 世紀後半から 19 世紀中頃までの日本の甲冑、面、刀装具等の品々を展示します。日本の職人が作り上げた防具、卓越した芸術性、そして武士の洗練された美意識をご鑑賞ください。

- ・日時:2026 年 1 月 5 日(月)～3 月 27 日(金)
午前 9 時～午後 5 時(閉館時間:午後 1 時～2 時)

・主催・会場:当館

Level 25, 570 Bourke Street, Melbourne

https://www.melbourne.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/event.html#samurai_art

(2) 映画配信:「JFF Theater」

JFF Theater は、日本の映画、ショートムービー、アート作品、テレビ番組などを配信している国際交流基金による無料オンライン配信サイトです。現在、日本の食や学校生活をテーマにした映画 8 作品が 2 月 3 日まで配信されています。2 月 3 日午前 11 時(日本時間)からは、タイムループ・タイムリープなど“時間のいたずら”や日本文化の魅力を伝える“道”日本的心”をテーマにした映画 5 作品が配信される予定です。配信ラインナップにつきましては、以下のリンクをご覧ください。

- ・配信期間: 2025 年 10 月 31 日(金)～2026 年 2 月 3 日(火)
2026 年 2 月 3 日(火)～2026 年 5 月 7 日(木)

・主催:国際交流基金

<https://www.jff.jpf.go.jp/movie/>

(3) フリートーク「Tradition and Modernity in Kyoto, Japan's Ancient Capital」

国際交流基金シドニー事務所は 2 日に渡り、京都市をテーマにしたフリートークシリーズを開催します。1 日目は京都在住経験のある歴史家 Matthew Stravos 博士による京都市の豊かな歴史と文化的意義を紹介します。2 日目は Hannah Gould 博士が現代京都市民の日常生活における神道・仏教その他の宗教的伝統の役割を探ります。本トークは国際交流基金シドニー事務所の Facebook にて生配信されます。

1 日目「Finding Ancient Kyoto in the Modern Cityscape」

- ・日時:2026 年 2 月 13 日(金)

午後 6 時～7 時半(トーク、Q&A)

2 日目「Encountering Religion in the Streets of Kyoto」

・日時:2026 年 2 月 20 日(金)

午後 6 時～7 時半(トーク、Q&A)

・主催・会場:国際交流基金シドニーの Facebook ページより配信

オンライン (<https://www.facebook.com/japanfoundationsydney>)

<https://sydney.jpf.go.jp/events/kyoto/>

(4) セミナー「Japanese Economy, Critical Minerals and the Energy Transition」

本セミナーでは、日本の経済見通しと、世界の脱炭素化やエネルギー転換における日本の戦略的立場について考察します。2026 年は日豪友好協力基本条約締結 50 周年を迎えることから、今後 50 年間の日豪関係の優先課題と機会についても語ります。本セミナーは国際交流基金シドニー事務所の Facebook にて生配信されます。

日時:2026 年 2 月 17 日(火)

午後 2 時～4 時半

・主催・会場:国際交流基金シドニーの Facebook ページより配信

オンライン (<https://www.facebook.com/japanfoundationsydney>)

<https://sydney.jpf.go.jp/events/economy/>

(5) 展示:「Prevailing Gales—吹きすさぶ風」

今月からタスマニア海事博物館(Maritime Museum Tasmania)にてタスマニア出身 Sue Pedley 氏による「Prevailing Gales—吹きすさぶ風」が展示されます。本展は 1830 年に徳島県出羽島周辺の海域でヴァン・ディーメンズ・ランド(現在のタスマニア)から脱走した囚人が鎖国中の日本の海域に到着し、徳島藩の侍たちによって追い払われた事件を描いています。この作品はかつて侍の絵師たちが用いた手漉きの和紙や素材を用いて異文化が衝突するテーマを探求しています。

・日時: 2026 年 2 月 20 日(日)～2026 年 5 月 24 日(日)

・ 主催・会場:タスマニア海事博物館(Maritime Museum Tasmania)、Creative Australia

16 Argyle Street Hobart, Tasmania 7000

<https://www.maritimetas.org/whats/exhibitions/prevailing-gales-sue-pedley>

(6)「Re-Imagining Gender: Rei Kawakubo & Vivienne Westwood」

現在ビクトリア国立美術館(NGV)で展示中の「Westwood | Kawakubo」の一環として、NGV 学芸員 Meg Slater、NGV のファッション・織物専門学芸員 Katie Somerville とファッションデザイナー・ブランド「Rude Boy」の創設者 Glen Rollason が、川久保玲と Vivienne Westwood の作品における慣習への抵抗やジェンダー規範を覆す姿勢について語ります。このイベントはメルボルンで毎年開催されている LGBTQIA+ 祭典「ミッドサマー・フェスティバル」との共同企画です。

・日時: 2026 年 2 月 7 日(土)午後 3 時～4 時

・主催・会場:ビクトリア国立美術館(NGV)

Clemenger BBDO Auditorium

Ground floor, 180 St Kilda Road, Melbourne VIC 3006

・入場料:無料(予約要)

<https://www.ngv.vic.gov.au/program/re-imagining-gender-rei-kawakubo-vivienne-westwood/>

(7) 展示:「Westwood | Kawakubo」

現在ビクトリア国立美術館(NGV)では、夏のロックスター展「Westwood | Kawakubo」が開催中です。本展では、ファッション界で最も影響力のある二大アイコン、イギリスのデザイナーの Vivienne Westwood(1941–2022)と「コム・デ・ギャルソン」創設者の川久保玲の共通点と相違点を探る 140 以上におよぶ作品が展示されます。NGV コレクションに加え、ニューヨークの Metropolitan Museum of Art やロンドンの Victoria and Albert Museum などからの貴重なコレクションも展示されます。

・日時: 2025 年 12 月 7 日(日)~2026 年 4 月 19 日(日)

・主催・会場:ビクトリア国立美術館(NGV)

Ground floor, 180 St Kilda Road, Melbourne VIC 3006

・入場料:大人 \$40、子供 \$18、コンセッション \$37

メンバー割引等については、下記 HP をご覧ください。

<https://www.ngv.vic.gov.au/exhibition/westwood-kawakubo/>

(8) 展示:「Women Photographers 1900–1975: A Legacy of Light」

プリント、ポストカード、写真集、雑誌などを展示し、1900 年から 1975 年の間に活動した 80 人以上の女性写真家による多様な写真手段を称える展となります。その中、戦後日本の写真界で先駆的な役割を果たした山沢栄子と常盤豊子の作品も紹介されています。二人の作品は、写真集という媒体を通じて戦後日本の社会変容を表現しています。

・日時: 2025 年 11 月 28 日(金)~2026 年 5 月 3 日(日)

・主催・会場:ビクトリア国立美術館(NGV)

Ground floor, 180 St Kilda Road, Melbourne VIC 3006

・入場料:大人 \$25、子供 \$11

メンバー割引等については、下記 HP をご覧ください。

<https://www.ngv.vic.gov.au/exhibition/women-photographers-1900-1975/>

(9) 展示:「DISTRACTION: Cat Island」

展示「DISTRACTION」の一環である「Cat Island」は、「天国のような猫島」と呼ばれる福岡県相島の猫たちが初めてスクリーンで自分を観る面白かわいい映像を用いたインタラクティブ展示です。猫たちの様子、メルボルン大学のスチュワート・フォックス研究室による動物の色彩知覚に関する研究と

新技術を融合した展示を楽しめます！

・日時：2025年7月26日(土)～2026年5月2日(土)

2026年2月18日(水)から再開

・主催・会場：Science Gallery Melbourne(メルボルン大学)

Melbourne Connect

114 Grattan St, Parkville VIC

<https://melbourne.sciencegallery.com/distraction>

(10)「Worldly Cafe - Japan」

岡山県浅口市と姉妹都市関係にあるティーザリーガリー市主催による「Worldy Cafe」が開催されます。太鼓演奏、空手実演、マンガを描く体験など日本の文化を五感で楽しむ活気あふれるお祭りです。

・日時：2026年2月13日(金)午後6時～8時

・主催・会場：Harpers Field Community Hub,

1477-1487 Golden Grove Road, Golden Grove, SA 5125

<https://www.teatreegully.sa.gov.au/community-and-recreation/events/eventbrite/worldy-cafe>

(11) Adelaide Fringe

アデレードで毎年開催されている国際的な文化・芸術の祭典です。

本年は、アクロバット、ダンス、エレクトロニック・サウンド、映像演出などを融合した日本の現代サークス「GASHA」、世界中のフェスティバルで多数優勝を重ねた一輪車を使ったアクロバットショー「Cartoooon!!」、日本人コメディアン若杉昂志氏の「Wabi-Sabi Comedy」など、数々の日本人アーティスト及び日本文化関連のショーやパフォーマンスが開かれます。日時、会場、入場料等は各ショーカー・パフォーマンスのサイトをご参照ください。

・日時：2026年2月20日(金)～2025年3月22日(日)

・主催：Adelaide Fringe

・会場・入場料：各サイト参照

<https://adelaidefringe.com.au/>

(12) 展示：「FRIEND」

FRIEND は National Communication Museum (NCM)と日本の studioBOWL によるロボットコラボ展です。本展では、豪州初公開の早稲田大学が開発した世界初のフルスケール創造的人型ロボット「WABOT-2」や、豊橋技術科学大学の ICD-Lab が手掛けた「Weak Robots」などの日本のロボットとオーストラリアのロボットたちを展示とともに、人間とロボットの関係性について探求します。

・日時：2025年11月1日(土)～2026年4月26日(日)

午後 6 時～7 時

- ・主催・会場:National Communication Museum
- ・ミュージアム入場料: 大人\$32、コンセッション\$26、その他以下 HP 参照
<https://ncm.org.au/exhibitions/friend>

(13) 展示:「保土ヶ谷のユーカリ」

第二次世界大戦終戦 80 周年を記念して、メルボルン戦争慰霊館にて「保土ヶ谷のユーカリ」と称する横浜市保土ヶ谷区にある英連邦戦争墓地についての展示が開催されています。同英連邦戦争墓地は、戦後における最も重要な戦争墓地設計のひとつとして認識されています。

- ・日時:2025 年 8 月 15 日(金)～2026 年 8 月 2 日(日)

午前 10 時～午後 5 時

- ・主催・会場:Melbourne Shrine of Remembrance
 - ・入場料:無料
- <https://www.shrine.org.au/exhibitions/eucalypts-hodogaya>

(連絡先)在メルボルン日本国総領事館 (03)9679-4510